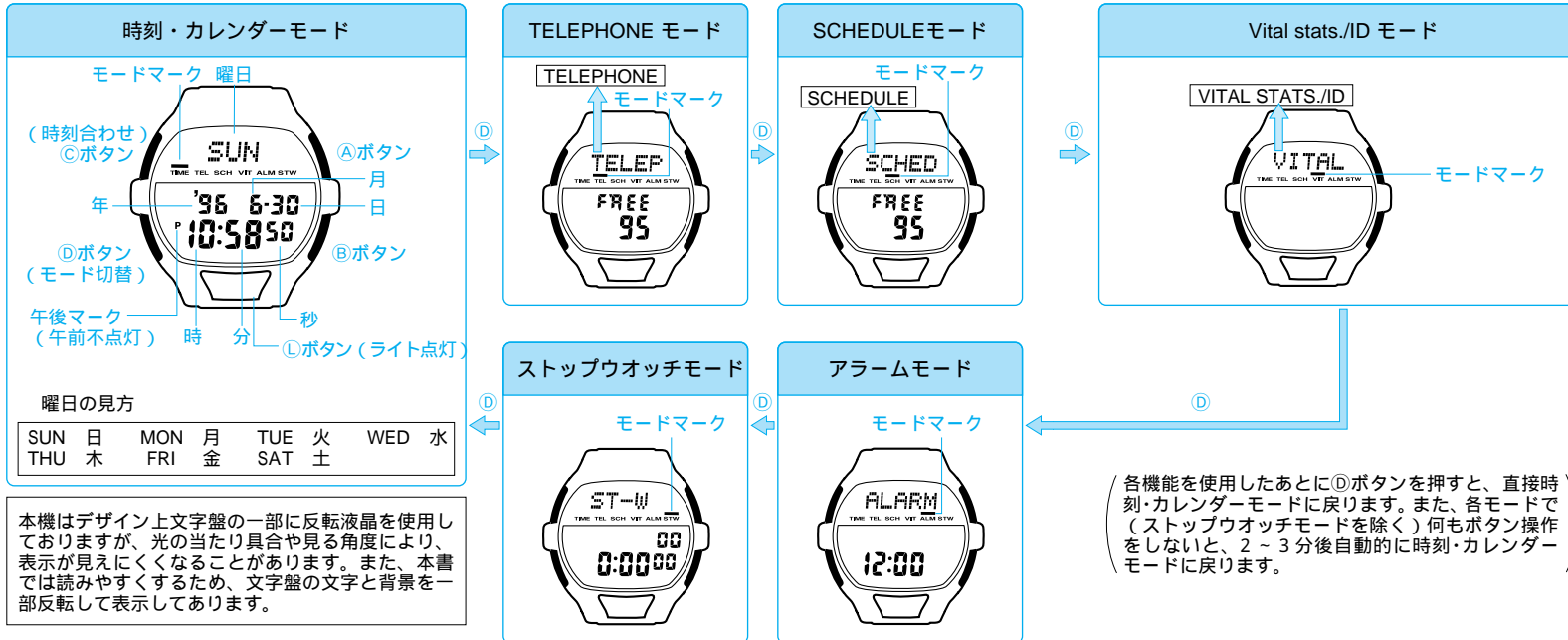


操作のしくみと表示の見方 ①ボタンを押すごとにモードが切り替わります。



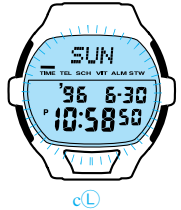
ライト点灯について

どのモードでも、①ボタンを押すと文字盤が約1.5秒間発光します。

文字盤発光中に①ボタンを押すと、その時点から引き続き約1.5秒間発光します。ただし、①ボタンを1~2分以上押し続けると、自動的にライトが消えます。

ご注意

直射日光下では、発光が見えにくくなります。発光中にアラームなどの電子音が鳴ると、発光を中止します。発光中に時計本体より音が聞こえることがありますが、これは発光のために時計内部のELパネルが振動するときの音で、異常ではありません。



デモ表示について

本機は工場出荷時に「デモ表示」に設定してあります。デモ表示では各モードのタイトルを表示し続けます。(この間、ライト点灯以外の通常のボタン操作はできません。)

デモ表示の解除

①ボタンを約3秒間(確認音が鳴るまで)押し続けます。

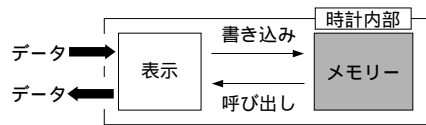
デモ表示の設定

解除するときと同様に①ボタンを約3秒間押し続けます。

メモリーについて

メモリーのしくみ

本機は、電池が消耗しても、入力したデータを保持できるメモリー（EEPROM）を使用しています。本機にデータを入力すると、自動的にメモリー（EEPROM）に書き込みます。データを探すときは、このメモリーから該当のデータを呼び出し、表示します。



保持されるデータ

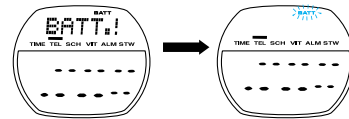
以下のデータは電池が消耗しても消去されません。
TELEPHONE ... 名前、電話番号
SCHEDULE ... メッセージ、月・日・時・分
Vital stats./ID ... 名前、生年月日、血液型、クレジット、ライセンス等
各モードのデータについて詳しくは各機能の項目をご覧ください。

電池が消耗すると（電池切れ予告機能）

電池の消耗時期が近づくと、下図のような「電池切れ予告表示」となります。操作時に、この表示になるときは、お早めに電池交換を行なってください。

電池交換は、必ずお買い上げまたは最寄りのカシオサービスセンターに申し付けください。

例) TELEPHONE のとき



（空ページ表示）

電池切れ予告表示後は、各モードでの空ページ表示となります。

電池切れ予告中は、TELEPHONE、SCHEDULE、Vital stats./IDでの操作はできなくなります。また、アラームなどの報知音、ライト点灯は行ないません。

名前部、数字部の入力のしかた

名前部（文字）の入力

本機はTELEPHONEモード、SCHEDULEモード、Vital stats./IDモードの名前部やメッセージ部、タイトル部に文字が入力できます。

TELEPHONEモードは最大8文字、SCHEDULEモードは最大11文字、Vital stats./IDモードはNAME部に最大16文字、クレジット・ライセンス・パスポート・フリーメモリーの名称部に最大8文字まで入力できます。入力できる文字は、カタカナ（ア～ン、ア・ツ・ヤなどの小文字、`、`、`、`）、アルファベット（A～Z）、数字（0～9）、記号（-、`、/、（、）空白）です。

名前部入力時の表示

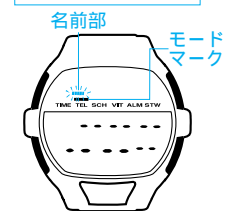
入力表示するには、各モードの「データ入力」をご覧ください。

ご注意とお願い

本機は、電話番号、パスポート、免許証、クレジットカードなどの大切な番号を登録/呼び出しすることができます。ただし、これらの番号を登録した時計を他人に貸したり、紛失、盗難されたりすると、大切な番号を悪用される恐れがありますので、本機の取り扱いには十分にご注意ください。なお、本機にクレジットカードなどの番号を登録する際は、他人にわからない形で入力することをおすすめします。

万一、本機にお客様ご自身が登録した番号により発生した損害等については、当社では一切責任を負えませんので、あらかじめご了承ください。

TELEPHONEモード



（ 10ページ ）

SCHEDULEモード



（ 12ページ ）

Vital stats./IDモード （例：NAME）



（ 15ページ ）

名前入力のかた

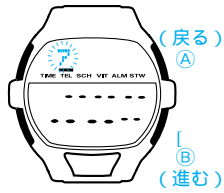
- (1) 各モードの名前入力表示のとき、

ⒷまたはⒶボタンを押します

点滅箇所に表示されますので、入れたい文字を選びます。

Ⓐ・Ⓑボタンとも押し続けると、文字が早く進みます。

カタカナは押し続けるとア段(ア カ サ...)で早送りができます。

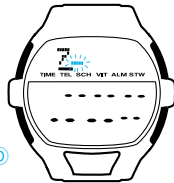


- (2) 文字を選んだら、

Ⓓボタンを押します

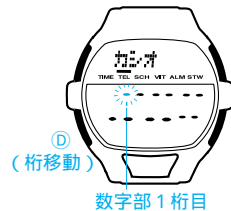
点滅箇所が右に1つ移動します。

Ⓓボタンを押し続けると、点滅が早く動きます。



文字が点滅したまま2~3分すると、自動的に点滅が止まります。

TELEPHONEモード(8文字)、SCHEDULEモード(11文字)、Vital stats./IDモード(NAMEは16文字、その他は8文字)のときは、すべて入力すると自動的に点滅箇所が数字部に移動しますので、引き続き数字部の入力ができます。入力した文字が7文字/10文字/15文字以下のときは、名前入力後、Ⓓボタンを何回か押して点滅箇所を数字部に移動させます。

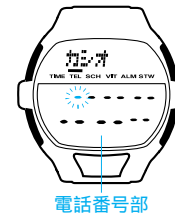


番号部(数字)の入力

本機はTELEPHONEモードの電話番号部とVital stats./IDモードの番号部に12桁まで、SCHEDULEモードに月・日・時・分の数字を入力できます。

番号入力時の表示
入力表示するには、各モードでの「データ入力」をご覧ください。

例: TELEPHONEモード



番号入力のかた

- (1) 各モードの番号入力表示のとき、

ⒷまたはⒶボタンを押します

点滅箇所に表示されますので、入れたい数字を選びます。

Ⓐ・Ⓑボタンとも押し続けると、数字が早く進みます。



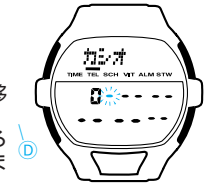
例: TELEPHONEモードのとき

- (2) 数字を選んだら、

Ⓓボタンを押します

点滅箇所が右に1つ移動します。

Ⓓボタンを押し続けると、点滅が早く動きます。

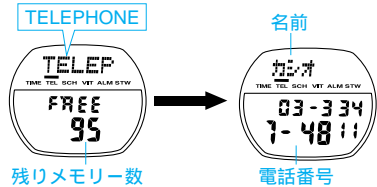


上記(1)~(2)を繰り返して番号を入力していきます。

数字が点滅したまま2~3分すると、自動的に点滅が止まります。

TELEPHONEモードの使い方

① ボタンを押してTELEPHONEモードにします。TELEPHONEモードに切り替えると、残りメモリー数を表示後、前回最後に選んだデータを表示します。



“TELEPHONE” がスクロール中に(A)・(B)・(C)ボタンのいずれかを押すと、すぐに名前と電話番号を表示します。

TELEPHONEモードとは

名前と電話番号を同時に記憶できる機能です。本機は、名前8文字、電話番号12桁を最大100件*まで記憶できます。

*記憶件数は、「SCHEDULEモード」のデータと合わせて最大100件となります。(例えば「SCHEDULEモード」でデータを30件記憶しているときは、TELEPHONEのデータは最大70件まで記憶できます)

データを入力すると、名前順に並び替わりますので、データを探すときにたいへん便利です。(11ページ「データの呼び出し」)

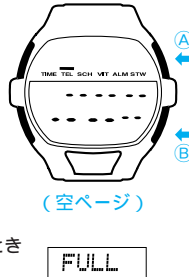
データ入力

(1) 空ページを探す

(A)・(B)ボタンを同時に押します

空ページがないときは、名前部に“FULL”と表示されます。これ以上記憶できませんので、不要なデータを消してから、データ入力を行ってください。

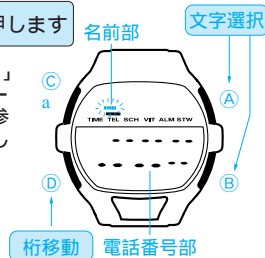
TELEPHONEデータを消去するとき
11ページ参照
SCHEDULEデータを消去するとき
13ページ参照



(2) 入力表示にする

(C)ボタンを約1秒間押します

7ページ「名前部の入力」を参照して名前を、9ページ「番号部の入力」を参照して電話番号を入力します。



(3) 入力を終わる

(C)ボタンを押します

点滅が止まり、入力したデータを表示します。

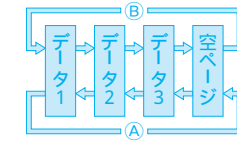
名前を6文字以上入力したときは、文字が横に流れる「スクロール表示」となります。スクロール中に電子ブザーが鳴ると、スクロールを一時中断し、鳴り終わった後続けてスクロールします。続けてデータを入力したいときは、(1)~(3)を繰り返す行ないます。入力したデータは名前順に並び替えられます。

データの呼び出し

(A)または(B)ボタンを押します



(B)ボタンを押すごとに名前順に進み、(A)ボタンを押すごとに逆方向に進みます。いずれも押し続けると早く進みます。



データを3本入力しているとき

データの修正

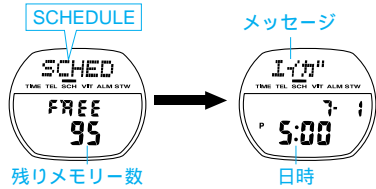
- (1) (A)または(B)ボタンを押して、修正したいデータを探します。
- (2) (C)ボタンを約1秒間押して、入力表示にします。
- (3) 修正したい部分まで(D)ボタンを押して点滅を送り、文字(数字)を修正します。
- (4) 修正後、(C)ボタンを押します。

データの消去

- (1) (A)または(B)ボタンを押して、消去したいデータを探します。
- (2) (C)ボタンを約1秒間押して、入力表示にします。
- (3) (A)・(B)ボタンを同時に押します。確認音が鳴り、データが消去されます。このとき引き続き他のデータを入力することができます。
- (4) 消去後、(C)ボタンを押した後(L)ボタンを押します。

SCHEDULEモードの使い方

① ボタンを押してSCHEDULEモードにします。SCHEDULEモードに切り替えると、残りメモリー数を表示後、現在時刻に一番近い未来のスケジュールが表示されます。



“SCHEDULE”がスクロール中に①・②・③ボタン（いずれかを）を押すと、すぐにメッセージと日時を表示します。

SCHEDULEモードとは

メッセージ（スケジュール）とその日時を同時に記憶し、セットした日時になると電子音とメッセージで知らせてくれる機能です。

電子音は20秒間、メッセージはスクロール表示で25秒間行なわれます。

本機は、メッセージ11文字と日時を100件*まで記憶できます。
*記憶件数は「TELEPHONEモード」のデータと合わせて最大100件となります。

（例えば「TELEPHONEモード」でデータを30件記憶しているときは、SCHEDULEのデータは最大70件まで記憶できます）
また、データを入力すると、日時の順に並び替わります。

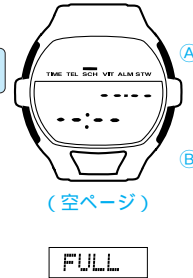
データ入力

(1) 空ページを探す

②または①ボタンを押します

空ページがないときは、メッセージ部に“FULL”と表示されます。これ以上記憶できませんので不要なデータを消してから、データ入力を行ってください。

TELEPHONEデータを消去するとき
11ページ参照
SCHEDULEデータを消去するとき
13ページ参照



(2) 入力表示にする

③ボタンを約1秒間押します

9ページ「番号部の入力」を参照して月・日・時・分を、7ページ「名前部の入力」を参照してメッセージを入力します。
基本時刻を24時間制にしているときは、SCHEDULEモードの時刻も自動的に24時間制表示になります。



(3) 入力を終わる

③ボタンを押します

メッセージを6文字以上入力したときは、文字が横に流れる「スクロール表示」となります。スクロール中に電子ブザーが鳴ると、スクロールを一時中断し、鳴り終わった後続けてスクロールします。続けてデータを入力したいときは、(1)~(3)を繰り返して行ないます。
入力したデータは現在時刻に一番近い未来のデータを先頭に、日時（月・日・時・分）の順に並び替えられます。

- ・スケジュールをセットできるのは、現在日から1年間です。（今日が6月30日のとき、翌年の6月29日までセットできます。）
- ・スケジュールは必ず「月日時分」を入力して下さい。月日が--月--日--日のときは、スケジュールとして記憶されません。

データの確認（呼び出し）

①または②ボタンを押します

③ボタンを押すごとに日時順に進み、①ボタンを押すごとに逆方向に戻ります。いずれも押し続けると早く進みます。



鳴っている電子音を止めるには

電子音が鳴っているときにいずれかのボタンを押すと止まります。

電子音は止まりますが、メッセージは25秒間表示し続けます。もう一度いずれかのボタンを押すと、メッセージが消えます。

データの修正

- (1) ①または②ボタンを押して、修正したいデータを探します。
- (2) ③ボタンを約1秒間押して、入力表示にします。
- (3) 修正したい部分まで④ボタンを押して点滅を送り、文字（数字）を修正します。
- (4) 修正後、③ボタンを押します。

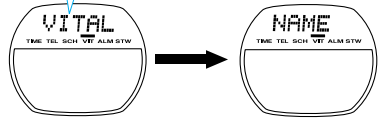
データの消去

- (1) ①または②ボタンを押して、消去したいデータを探します。
- (2) ③ボタンを約1秒間押して、入力表示にします。
- (3) ①・②ボタンを同時に押します。
確認音が鳴り、データが消去されます。
このとき引き続き他のデータを入力することができます。
- (4) 消去後、③ボタンを押した後④ボタンを押します。

Vital stats./IDモードの使い方

①ボタンを押してVital stats./IDモードにします。Vital stats./IDモードに切り替えると、“NAME”を表示します。

VITAL STATS./ID



“VITAL STATS./ID”がスクロール中に①・②・③ボタンのいずれかを押しすと、すぐに名前を表示します。

Vital stats./IDモードとは

自分の名前、血液型、誕生日、クレジットカード、免許証、パスポート、フリーメモリー（2件分）を記憶できます。

入力文字（数）
 名前.....16文字
 血液型.....RH式 / ABO式
 誕生日.....生年月日
 クレジットカード、免許証、パスポート、フリーメモリー
名称 8文字、数字部12桁

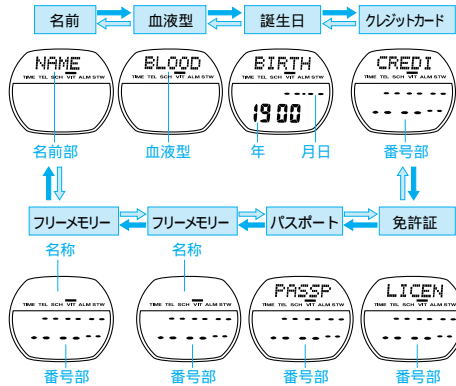
ご注意

Vital stats./IDモードには、自分のデータのみを入れてください。他人のデータを入れたり、自分のデータを入れた時計を他人に貸したりしないでください。

各データの呼び出し

②ボタンを押します

②ボタンを押すごとに → の順に、①ボタンを押すと ⇨ の順に表示が切り替わります。いずれも押し続けると早く進みます。

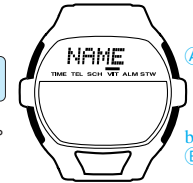


データ入力

(1) データを選ぶ

②または①ボタンを押します

入力したい箇所を選びます。



(2) 入力表示にする

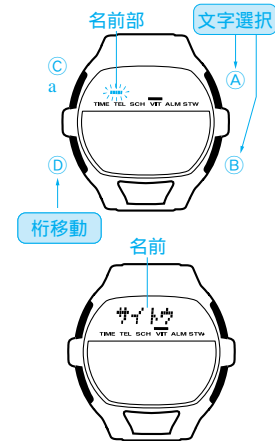
③ボタンを約1秒間押します

名前部が点滅します。

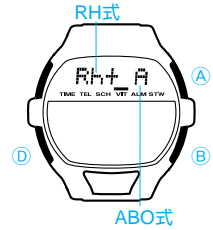
7ページ「名前部の入力」を参照して名前を入力します。

入力表示のとき、①・②ボタンを同時に押しすと、入力したデータが消されます。

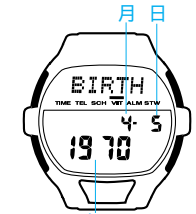
“NAME”は名前を入力します。



“BLOOD”はRH式の+ / - を、ABO式のA / B / AB / Oのいずれかを入力します。RH式とABO式の入力は①ボタンを押して切り替えます。RH式は、②ボタンを押すごとにRH+ RH- “ - ” RH+...と表示され、①ボタンを押すと逆の順に表示されます。ABO式は、②ボタンを押すごとにA B O A B “ - - ” A...と表示され、①ボタンを押すと逆の順に表示されます。RH式とABO式の両方のデータが入っていないと、メモリーされません。



“BIRTH”は年・月・日を入力します。年・月・日の入力は①ボタンを押して切り替えます。年は西暦年で1900年～2039年まで選べます。



“CREDI”、“LICEN”、“PASSP”、フリーメモリーは名称と番号を入力します。

名称を入力したあとは、①ボタンを何回か押して番号部を点滅させ、入力します。



(3) 入力を終わる

Ⓒボタンを押します

点滅が止まります。

名前を6文字以上、名称を6文字以上入力したときは、文字が横に流れる「スクロール表示」となります。スクロール中に電子ブザーが鳴ると、スクロールを一時中断し、鳴り終わった後続けてスクロールします。点滅表示のまま、2～3分すると自動的に点滅が止まります。

データの修正

- (1) ⒶまたはⒷボタンを押して、修正したいデータを探します。
- (2) Ⓒボタンを約1秒間押して、入力表示にします。
- (3) 修正したい部分までⒹボタンを押して点滅を送り、文字(符号)を修正します。
- (4) 消去後、Ⓒボタンを押します。

データの消去

- (1) ⒶまたはⒷボタンを押して、消去したいデータを探します。
- (2) Ⓒボタンを約1秒間押して、入力表示にします。
- (3) Ⓐ・Ⓑボタンを同時に押します。
確認音が鳴り、データが消去されます。
このとき引き続き他のデータを入力することができます。
- (4) 消去後、Ⓒボタンを押します。

アラーム・時報の使い方

アラームは分単位でセットでき、セットした時刻になると20秒間の電子音で知らせます。また、毎正時(00分)に時報を鳴らすこともできます。

アラーム時刻のセット

準備: Ⓓボタンを押してアラームモードにします。

- (1) Ⓒボタンを約1秒間押します

「時」が点滅します。このときアラームマーク()が点灯します。



- (2) ⒷまたはⒶボタンを押します

Ⓑボタンを押すと「時」が進みⒶボタンを押すと戻りますので、セットしたい時刻を表示させます。

押し続けると早く進みます。



「時」のセットのとき午前/午後(P)にご注意ください。基本時刻を24時間制表示にしているときは、アラーム時刻も自動的に24時間制表示となります。

- (3) Ⓓボタンを押します

「分」が点滅します。

「分」も「時」と同様にⒷ・Ⓐボタンを押して数字を選びます。



もう一度Ⓓボタンを押すと「時」が点滅します。

(4) セットが終わりましたら、

ⓐボタンを押します

点滅が止まり、セット完了です。

点滅表示のまま2～3分すると自動的に点滅が止まります。

鳴っている電子音を止めるには

電子音が鳴っているときに、いずれかのボタンを押すと、音が止まります。

モニターアラーム

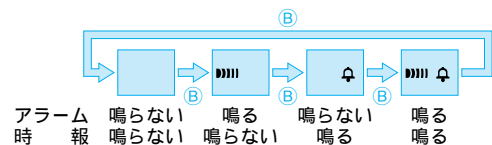
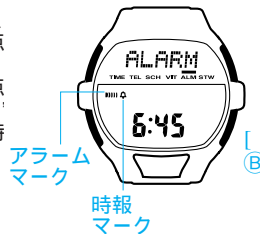
アラームモードのときにⓐボタンを押し続けると、押し続けている間、アラーム音が鳴ります。



アラーム・時報のON/OFFの設定

準備：ⓐボタンを押してアラームモードにします。

ⓑボタンを押すごとに、以下の順でマークが点灯/不点灯します。それぞれのマークが点灯しているときが“ON”となり、アラーム・時報が鳴ります。



アラーム時刻のセットを行なうと、自動的にアラーム“ON”に設定されます。

ストップウォッチの使い方

本機のストップウォッチは、1/100秒単位で23時間59分59秒99（24時間計）まで計測できます。計測時間がこの計測範囲を超えると、以後0に戻って繰り返し計測を続けます。

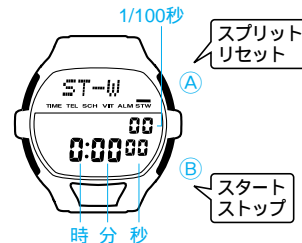
計測のしかた

準備：ⓐボタンを押してストップウォッチモードにします。

ⓑボタンを押すごとに計測開始/終了します

計測中にⓐボタンを押すと表示が止まり*、スプリットタイムを表示します。もう一度ⓐボタンを押すとスプリットが解除されます。

*スプリットタイム表示中でも内部では計測を続けています。



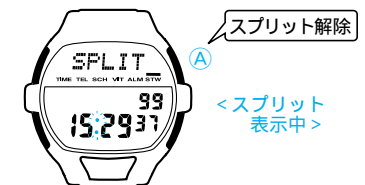
通常計測



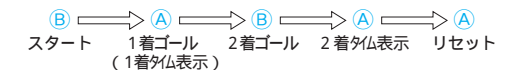
<積算計測>

ロスタイムのある場合は、ストップ後リセットせずにⓑボタンを押して再スタートすれば、表示タイムに引き続き計測を始めます。

スプリットタイム計測（途中経過時間計測）



1・2着同時計測



時刻・カレンダーの合わせ方

電池交換後などで、時刻・カレンダーが合っていない時は、以下の手順で合わせてください。

「秒」合わせ...±30秒以内の遅れ/進みの調整

時刻・カレンダーモードのとき

時報に合わせて、
①ボタンと②ボタン
を同時に押します

秒が「00」秒からスタートします。



秒が00～29のときは切り捨てられ、30～59のときは1分くりあがって「00」秒になります。
(時報は「時報サービス電話117番」が便利です)

「時刻・カレンダー」合わせ

(1) 時刻・カレンダーモードのとき

③ボタンを約1秒間押します

「秒」が点滅します。
秒が点滅しているときに②ボタン
を押すと、秒合わせができます。

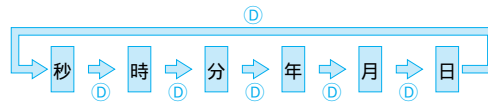


(2) 時刻・カレンダーを合わせます

a. ①ボタンを押します

点滅箇所が以下の順で移動
します。点滅箇所がセット
可能ですので、①ボタン
を押してセットしたい箇
所を選びます。

①ボタンを押し続けると早送りができます。



b. ②または①ボタンを押します

②ボタンを押すごとに点
滅箇所の数字が進み①ボ
タンを押すごとに戻りま
す。

②・①ボタンは押し続
けると早く進みます。



上記a、bの操作を繰り返して「時刻・カレンダー」
を合わせます。

「時」のセットのとき午前/午後(P)または24時間制にご注意ください。

「年」は西暦で1995～2039年の範囲内でセットできます。

「12/24時間制切り替え」は、表示が点滅しているときに①ボタンを押します。押すごとに12時間制表示と24時間制表示が切り替わります。
なお、SCHEDULEモードとアラームモードの時刻もここで選んだ時制で表示されます。

カレンダーはうるう年および大の月、小の月を自動判別するフルオートカレンダーですので、電池交換時以外は直す必要はありません。

(3) セットが終わりましたら、

③ボタンを押します

点滅が止まり、セット完了です。

点滅表示のまま2～3分すると自動的に点滅が止まります。